

珊瑚美肌

表示名称	配合目的	成分説明
水	基剤	
ツルグミエキス	保湿剤	
サンゴ末	研磨・スクラブ剤	古い角質を除去し、肌をやわらげる。
B G	保湿剤	無色、無臭の液体で僅かに甘味がある。適度の湿潤性と抗菌力があり、皮膚に対する刺激も少ないので、化粧品として有用である。グリセリンよりもさっぱりした使用感が保たれ、べたつきも少ないので、各種クリーム、乳液、エアゾール製品、歯みがきなどに保湿剤として、また香料の保留剤として広く使用される。
ホホバ油	基剤・加脂剤	オレイン酸が主成分で平均82.5%含有し、その他リノール酸、パルミチン酸を含有している。オレイン酸が主成分であるため良質の石けん原料として使用される他、皮膚に対してエモリエントな感触を与えるので、各種クリームやマッサージオイル、サンオイル、口紅などに広く用いられる。
ステアリン酸	基剤・加脂剤	主として牛脂、大豆油および綿実油を加水分解して得られる。ステアリン酸はクリームの成分として非常に重要な原料で、クリームの中の硬さなどに影響を与える。各種クリームや乳液の油性原料、ファンデーションに用いられるほか、界面活性剤の原料としても重要である。
ペンチレングリコール	保湿剤	無色透明の液体で僅かなにおいがあり、水、エタノールによく溶ける。保湿剤として使用される。ポリオール的一种で、抗菌性に極めて優れており、防腐目的にも利用される。
ベントナイト	増粘剤	天然のコロイド性含水ケイ酸アルミニウムでさっぱりとした使用感とゲル形成力を有する。大量の水を吸収して膨潤する粘土鉱物である。乳化剤、充てん剤、粘結剤として、クリーム、乳液、パック剤として用いられる。
ポリソルベート60	乳化剤	モノステアリン酸ソルビタンに酸化エチレンを付加重合して得られる非イオン性界面活性剤。すぐれた乳化、可溶化、分散作用があり、クリーム、乳液、石けん、シャンプー、リンス、メイクアップ化粧品など幅広く使用される。
酸化チタン	トリニティーZ09	イルメナイト鉱を原料として、酸処理後、抽出などを行い化学処理をして製造される白色顔料である。皮膜力、着色力に優れ、紫外線遮断作用は微粒子かでより高くなり、サンスクリーン剤の主役である。皮膚に対し収斂性がなく、生理的に不活性である。酸化チタンは重要な原料として多用されているが、更に物性を向上させるために表面をケイ酸や酸化アルミニウムなどで処理したものが使用されている。白色顔料としてクリーム、乳液、メイクアップ製品に広く使用され、紫外線遮断剤として日焼け止めクリームに使用される。
リン酸Ca	トリニティーZ09	リン酸カルシウムは自然界の動植物のあらゆる細胞組織、器管等の中にあってその生命体維持にかかわり、ことに我々人間一人の骨格の中には1.9kg~2.4kgが含まれているといわれます。
シクロデキストリン	トリニティーZ09	約1世紀前に発見された特異な包接機能により注目された、シクロデキストリン生成酵素でデンプンを分解して得られる環状デキストリンで、白色の結晶または結晶性の粉末で無臭である。環状構造をしているため、その分子空洞内に香料や油溶性の成分など種々の物質を取り込む性質がある。揮発性物質の安定化、酸化、光分解性物質の保護、水不溶性物質の乳化などの物性改善効果を示す。分子カプセルとしての応用研究がされており、今後の応用製品が期待される。
シルク	トリニティーZ09	蚕の絹繊維を構成するたんぱく質であるフィブロインの粉末である。白色または灰白色の粉末で、僅かに特異なおいがある。皮膚や毛髪に対して高い親和性をもっている。シルクのもつ滑らかな肌触り、色調、光沢などが使用感を改善し、皮膚に対する柔軟性、保湿性を向上させる。石けん、シャンプー、リンス、頭髪用化粧品など幅広く利用されている。

表示名称	配合目的	成分説明
グリセリン	保湿剤	最も古くから用いられてきた保湿剤であり、非常に吸湿性が強く現在でも多くの化粧品に使われている。グリセリンは保湿剤として製品の硬さや粘度を長期間一定に保持させる目的で使用される。また、皮膚に対する柔軟剤として、製品ののび、滑りを良くする。吸湿性を有し、皮膚に対して潤いを与え、しっとりとした感触を与える。グリセリンとヒアルロン酸ナトリウムと一緒に組み合わせると保湿の相乗効果が高まり、薄い皮膜を作り、皮膚の潤いを守る。
ステアリン酸PEG-10		ステアリン酸に酸化エチレンを付加重合するか、ポリエチレングリコールをステアリン酸でエステル化して得られる。優れた乳化作用を有する。
セタノール	基剤・加脂剤	鯨ロウまたはマッコウ鯨油を加水分解して得たアルコールを分留する方法、ヤシ油または牛脂を還元後、分留する方法により得られる。白色の光沢あるロウ様の固体である。セタノールは化学構造上、末端に水酸基を有するために親水活性があり、クリームや乳液に配合すると、その安定性が非常に向上する。また、皮膚に対するエモリエント効果が有り、クリームに光沢と白色を与える効果もある。口紅などのスティック状製品にも配合される。
パルミチン酸セチル	基剤・加脂剤	パルミチン酸とセチルアルコールからなる固体のエステルで、鯨ロウの主成分と同じものである。クリームなどの光沢改良や粘度増加に使用される他、口紅などにも他のロウ類と合わせて用いられる。
ステアリン酸グリセリル	乳化剤	ステアリン酸のグリセリンモノエステルである。W/O型乳化剤としては界面活性剤中最も古くから用いられた。その他歯みがきの柔軟剤、石けん、シャンプーの過脂肪剤としても用いられる。モノステアリン酸グリセリンに石けん、あるいは非イオン界面活性剤を加えて親水性を増強したものがあり、これを自己乳化型モノステアリン酸グリセリンと呼び、広く乳化剤として用いられている。
テトラオレイン酸ソルベス-30	乳化剤	各種の油に対し優れた乳化力を持つ非イオン性界面活性剤。石けん、シャンプー、リンス、クリーム、乳液、メイクアップ化粧品、頭髪用化粧品などに使用される。
ベヘニルアルコール	基剤・加脂剤	ナタネ油の還元アルコールより得られる炭素数C22の高級アルコール。炭素数が多いため安全性も高く、乳化安定性に優れているため代替使用されるようになった。セタノールをベヘニルアルコールに置き換えると、融点が高いため、ワックス分を原料でき、温度耐性の良い製品を作ることが出来る。
キサントガム	増粘剤	ブドウ糖など炭水化物をキサントモナス族菌を用いて発酵させて得られる微生物由来の天然のガム質。酸性多糖類の一種で保湿成分として、また天然ガム質の増粘剤として優れた使用感を有しており、広く化粧品、食品用として使用されている。
ステアリン酸グリセリル(SE)	乳化剤	ステアリン酸のグリセリンモノエステルである。W/O型乳化剤としては界面活性剤中最も古くから用いられた。その他歯みがきの柔軟剤、石けん、シャンプーの過脂肪剤としても用いられる。モノステアリン酸グリセリンに石けん、あるいは非イオン界面活性剤を加えて親水性を増強したものがあり、これを自己乳化型モノステアリン酸グリセリンと呼び、広く乳化剤として用いられている。
フェノキシエタノール	防腐剤	グリコールエーテルの一種。僅かに芳香のある無色～淡黄色の透明、粘稠な液体である。殺菌作用があり、グラム陰性菌に対し特に有効である。化粧品の使用配合量は1.0%まで認められている。パラベンと組み合わせたり、デヒドロ酢酸と組み合わせると防腐成分として使用される。香水の保留剤としても使用される。